



2002年夏 三川の山に溶け込んでひっそりたたずむログハウス

## 三川村のログハウス完成

2002年9月1日、東蒲三川村長谷の山林内で、当会が建設していたログハウスの完成式と山林所有者（星野求行氏）への引渡式が行われた。

当日は厳しい残暑となったが、30人余りの会員が集まり、木漏れ日に「秋」を感じながら「熱い思い」のこもった小屋の完成を祝い合った。さかのぼれば1998年10月25日、初めて山に入って間伐木に目印をつけてから3年10ヶ月の成果だった。

丸太の搬出や樹皮むきなど大半が人力の作業。ヒルにかまれたり、ハチに刺されたり。時には突然の雷雨に肝を冷やすなどのアクシデントに見舞われたものの、大きな事故のなかったのが何よりの幸이었다。

小屋の骨組みの後は、建築専門家荻原智志・学兄弟を中心とした「少数精鋭」の作業となったが、数回の参加者でも「いい汗」をかいてのビールパーティ、ドブプリ自然につかった野宿会の思い出の多い歳月だった。

このログハウスの特徴は、不揃いな間伐材、チェーンソーだけの刻み作業といった制約の中で、随所に廃物を有効利用する工夫がなされた。中でも屋根ふきのアイデアは「大傑作」。約千個のペンキの空き缶を潰して張り合わせ、塗装はスカイブルー。林間に異彩な存在感を示している。

当会はNPO組織に生まれ変わったわけだが、この貴重な体験を活かして無事故をモットーに、愉快的ボランティア活動の輪を広げることを再認識したしだいである。

間伐材で作ったログハウス 作業の軌跡



なんと言っても昼飯が一番の楽しみだ



屋根の形ができた頃



落ち着いた秋の時期もまた良い



母屋を上げた  
長い桁材を上げるのは  
苦労したところ

焚火を囲んで  
寒い時期は火のそばに  
自然に人が集まる



屋根のペンキ塗りの様子と  
並んだペンキの空き缶



窓開口を切り込む  
長年積み上げてきたログに  
開口を切り込む

ログハウスの諸データ

- 延べ作業人数 : 約600人
- 延べ作業日数 : 約60日
- ヒルへの献血者数 : 約45人
- 野宿した者 : 約30人
- ズズメ蜂に刺された者 : 約1人
- そのハチの子を食べた者 : 約5人



引渡し式に集まった人たち

Project 1 森林整備



やぶだった所がとてもきれいになりました

Project 2 森で遊ぶ



ひらたけが取れました



麓にも山菜のてんぷらでおそばを頂く

Project 3 滝谷の様子



索道を張っているところ



索道を使った集材の様子



山で製材をしている所



製材を終え納品を待つ材料

## 夢いっぱいのログハウス完成 真柄 信子会員

「いい、このひと塗りでログが完成するよ」と学君が声を掛けた。一斉にヤッターと拍手喝采が・・・感激でした。初年度は会員も多くログ作りも順調、年度を重ねる毎に諸問題があり設計変更を余儀なくされたり、問題の都度皆の思いである「ログを完成させたい」という夢が叶うべく荻原兄ちゃんが、がんばってくれました。

ログの知識、木の伐採方法、チェーンソーの使い方等々、無力な私に出来ることはお昼のみそ汁係りでお手伝いすることでした。

三川にはいやな「ヒル」がいるんだけど、その事を忘れさせてくれるログ作りの仲間達と話合う

「あんな事、こんな事」と膨らむ夢。次はどんな夢追いかけてみましょうか。



## 継続こそが一番大事 石塚 広男会員

この会にお世話になり約3年が過ぎました。私はログに興味があり参加しましたが、皆さんもそれぞれにいろんな思いを描きながら、またこの会の趣旨にも理解を持って参加したのではないかと思います。いつのまにか会を去ってゆく人が多いこの現状は寂しい限りです。

しかし三川のログも完成の日を迎えることが出来、そして皆さんと一緒に喜び、達成感を共有することが出来たことは何よりの収穫でした。そして今、ちまたでは里山や自然環境を意識した提言がいろいろと語られてはおりますが、里山とかかわりの無い人々に里山の大切さをいくらといてもそれは、馬の耳になんとかで、ましてや他人様の草藪や荒れ果てた森林をひたすら整備するなど、世の凡人達にはまだまだ理解しがたいことなのでは？

1人でも多くの人たちに里山に興味をもってもらう、そして足を運んでもらう、そのきっかけ作りがこの会の活動が役立てば本望ではないかと思えます。そして無理せず楽しく継続することが一番大事なことと思えます。



## 新会員の紹介



青木 一穂  
新潟市坂井東  
自然と触れ合える生活を望んで参加します。孫の子守の息抜きに山でリフレッシュ。



斎藤 かおり  
新潟市住吉町  
得意技：テニスや海・山なんでもドンとこい。まとめて面倒見ます。

## 編集後記

今回はログハウス完成の特集号とし、工程や思い出に残る現場写真を中心に編集しました。荒川の現場及び滝谷の事業は紙面の都合により写真のみのご紹介となりました。

手記をお願いしました、石塚・真柄両会員に感謝いたします。イラストは今回も後藤さんをお願いしました。(山)

## 入会案内

山に入ってみたくて思っている方、都合の良い日にあわせて、ぜひ遊びに来てください。めぐり行く季節の中で気持ちの良い汗を流してみませんか？

- 設立年 : 平成10年10月21日
- 法人設立 : 平成14年2月1日
- 会員数 : 個人38人(平成13年現在)
- 活動日 : 毎月第2、4の土曜、日曜
- 年会費 : 5,000円
- 準会員 : 2,000円(学生・子供)
- 賛助会員 : 一口5,000円(2口以上)

### 入会申込書

年 月

氏名		男・女
住所		
生年月日		
電話		
FAX		
E-mail		
得意技		
職業		

## NPO法人 ウッディ阿賀の会



NPO 法人  
森林ボランティアクラブ  
**ウッディ阿賀の会**

事務局  
950-0994  
TEL(025)243-2870  
FAX(025)243-2846

株式会社 アーバンプランニング内 江添  
新潟市上所1丁目12番12号  
E-mail: woodyaga@par.odn.ne.jp  
URL: <http://www.geocities.co.jp/NatureLand/8492/>